

「鬪覚院機魂寛道居士」アントニオ猪木の戒名

金子重典師

鬪覚院（とうかくいん）…

鬪（とう）…仏教では「鬪」には戦いという意味がありますが、ここでは内面的な修行や努力、煩惱との戦いを示すと考えられます。

覚（かく）…悟り、覚醒を意味します。

院（いん）…仏教寺院や修行の場所を指します。

これで「鬪覚院」は、悟りを目指して内面的な戦いや修行を行う場所を意味します。

機魂（きこん）…

機（き）…仏教においては、機縁（きえん）や機根（きこん）のように、悟りに至るための因縁や機会を意味します。

魂（こん）…魂や精神、心を意味します。

これで「機魂」は、悟りに至るための因縁や機会に宿る精神や心を示します。

寛道（かんどう）…

寛（かん）…寛容さや広い心を示します。

道（どう）…仏教における道理、または仏道を示します。

これで「寛道」は、寛容で広い心を持って仏道を歩むことを意味します。

居士（こじ）…

居士は、在家の仏教信者を指します。在家でも深く仏教を信仰し、修行する人です。

これらを仏教的に組み合わせると、「鬪覚院機魂寛道居士」は、以下のように解釈できます…

鬪覚院 煩惱との戦いや内面的な修行を通じて悟りを目指す場所。

機魂 悟りに至るための因縁や機会に宿る精神や心。

寛道 広い心で仏道を歩むこと。

居士 在家の信者でありながら、深く仏教を信仰し修行する者。

全体として、この名前は在家でありながら、深い信仰心を持ち、煩惱との戦いを通じて悟りを目指し、広い心で仏道を歩む人物を象徴していると考えられます。

